

I 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員 (注)
柏原	学校教育 教員養成課程	教科教育専攻	技術教育コース	3人
			スポーツ健康コース	20人
	教育協働学科	教育コミュニティ支援専攻	芸術表現コース【音楽分野】	10人
教 育 学 部 合 計				33人

(注) 合格者数(入学手続者数)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

2 出願資格及び要件

課程・専攻・コース	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者 ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者（ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。） ② 高等専門学校第3学年を令和9年3月に修了見込みの者 (2) (1)①の者であって、調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者 (1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値（小数点第2位を四捨五入）が2.4以上の者 $\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\} \div (\text{総履修単位数})$ ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。 <table><tr><th>評語</th><th>秀</th><th>優</th><th>良</th><th>可</th><th>不可</th></tr><tr><th>評点</th><td>100～90点</td><td>89～80点</td><td>79～70点</td><td>69～60点</td><td>59～0点</td></tr></table> (3) 将来、小学校教員や中学校・高等学校の技術教育に携わる教員を強く志望する者 (4) 技術に関する高い興味と適性を備え、ものづくり教育・技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点								

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻・コース	出願資格及び要件
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は各種目につき1校2名以内とする。 (1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体又は個人種目において全国ベスト16以上の者（実際にプレーしなかった大会は除く。）又は団体種目において全国選抜若しくは全国優秀選手に選ばれた者 ※出願資格に関わる大会名等については、12～13頁を参照すること。 陸上競技、バスケットボール、サッカー、バレーボール、硬式テニス、体操競技、柔道、剣道 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 (4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、スポーツの指導者を希望する者

出 願 資 格 に 関 わ る 大 会 名 一 覧

種目名	大会名等
陸上競技 ＜リレー種目は除く＞	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ）＜リレー種目は除く＞ ◇国民スポーツ大会＜リレー種目は除く＞ ◇日本陸上競技選手権大会（リレー競技・クロスカントリー競技・混成競技含む。） ◇U20 日本陸上競技選手権大会 ◇JOC ジュニアオリンピックカップ U18 陸上競技大会
バスケットボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会 ◇全国高等学校バスケットボール選手権大会
サッカー	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会 ◇全国高等学校サッカー選手権大会 ◇高円宮杯 JFA U-18 サッカープレミアリーグ ※2 ◇日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会 ◇Jユースカップ（Jリーグユース選手権大会） ※2 ◇全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ◇全日本 U-18 女子サッカー選手権大会
バレーボール	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会 ◇全日本バレーボール高等学校選手権大会
硬式テニス	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇全国選抜高校テニス大会 ◇国民スポーツ大会 ◇全日本ジュニアテニス選手権 ◇全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会（JOC ジュニアオリンピックカップ） ◇ITF ジュニアテニス大会（グレード2以上）
体操競技	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会 ◇全国高等学校体操競技選抜大会 ◇全日本ジュニア体操競技選手権大会

柔道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会 ◇全国高等学校柔道選手権大会 ◇金鷲旗高校柔道大会 ◇全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 ◇全日本強化選手選考会
剣道	◇全国高等学校総合体育大会（インターハイ） ◇国民スポーツ大会 ◇全国高等学校剣道選抜大会 ◇玉竜旗高校剣道大会 ◇全国都道府県対抗剣道優勝大会 ◇全国都道府県対抗女子剣道優勝大会

- ※1 上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は出願に先立ち、10月13日（火）までに入試課へ問い合わせてください。
- ※2 高円宮杯JFA U-18サッカープレミアリーグに関しては、高校1年次及び高校2年次は各年度のリーグ終了時点、高校3年次は当該年度9節終了時点において、東・西各ブロック8位まで出願可とします。Jユースカップに関しては、2025年度までは2ndラウンド上位グループ各ブロック2位まで、2026年度はベスト16まで出願可とします。
- ※3 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

学科・専攻・コース	出願資格及び要件
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和9年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（声楽・楽器）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。） B 高等学校在籍中に声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者。又は、<u>それに相当する実技能力を有すると学校長が判断する者</u>。ただし、推薦人数は声楽・ピアノ・管打楽器の区分ごとに1校2名以内とする。 【出願資格に関わるコンクールについては、14頁を参照すること。】 ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。 ピアノ、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、 アルト・サクソフォーン、トランペット、ホルン、トロンボーン、 バス・トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、打楽器 (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 (4) 音楽活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、音楽を通して教育協働の分野での活動を希望する者 ※美術分野については、学校推薦型選抜の募集は行いません。

出願資格に関わるコンクール名一覧

声 楽

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本合唱コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	

器 楽（ピアノ）

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者

器 楽（管打楽器）

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

- ※1 全国レベル又はそれに準ずるコンクールとは、原則として上記のものです。
- ※2 参加コンクールと同一種目（志望する専門）で受験してください。
- ※3 全日本合唱コンクール全国大会、全日本吹奏楽コンクール全国大会、全日本アンサンブルコンテスト全国大会については、在籍する高等学校から出場した場合に限ります。
- ※4 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和8年11月1日（日）から令和8年11月6日（金）まで（**11月6日必着**）

(2) 出願方法

インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には次のA、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続が完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和8年10月26日（月）9時～令和8年11月6日（金）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む。）の支払い	令和8年10月26日（月）9時～令和8年11月6日（金）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和8年11月1日（日）～令和8年11月6日（金）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

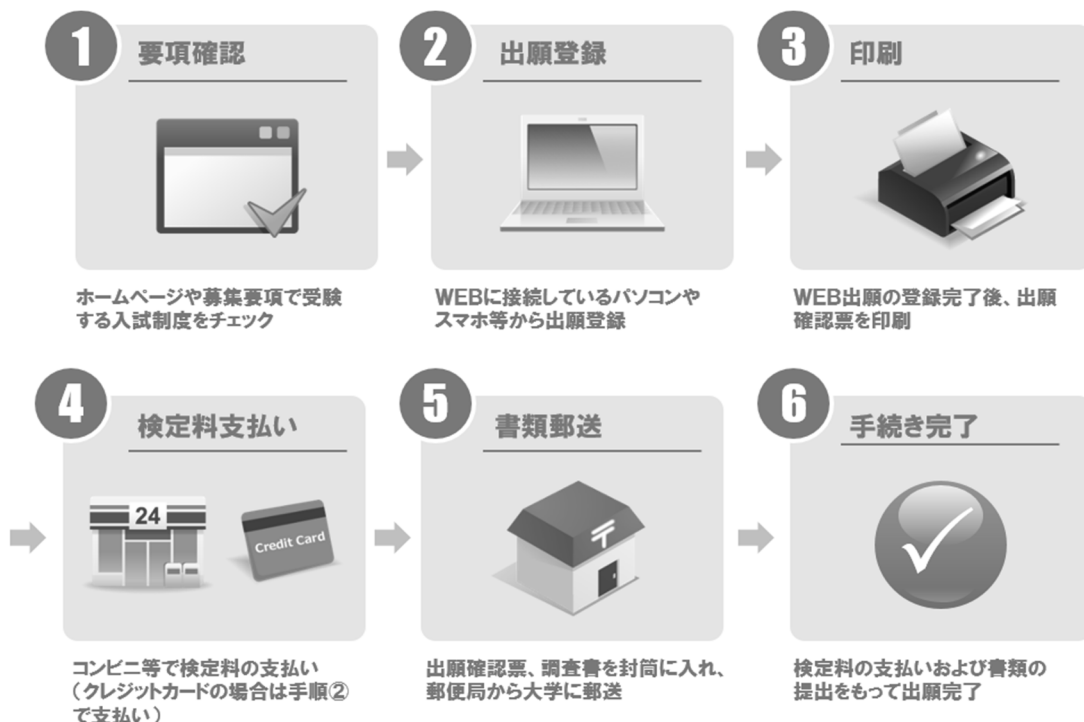
ただし、11月4日（水）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

※不備がある場合等、出願書類の件で連絡する場合があります。出願期間中は必ず連絡をとれるようにしておいてください（インターネット出願で登録した電話番号又はメールアドレスに連絡します）。

なお、メールアドレスは、受験票がインターネット出願登録ページのマイページで印刷可能になった際のお知らせ等にも使用しますので、登録画面で必ずメール受信確認を行ってください。

電話の場合は 072-978-×××× からかかってきます（最後4桁は変わります）。
メールの場合は nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp から届きます。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続になります。**詳細は、88頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和8年10月26日(月)9時00分～令和8年11月6日(金)12時00分(日本時間)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和8年10月26日(月)9時00分～令和8年11月6日(金)12時00分(日本時間)

1 入学検定料 17,000円

入学検定料支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(451円)がかかります。

2 支払方法

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA、MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニエンスストアにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easyロゴが付いているATMで支払うことができます。

3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料は80頁8の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)、熊本地震(平成28年4月14日)及び能登半島地震(令和6年1月1日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は次のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoku_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和8年11月1日(日)～令和8年11月6日(金)(必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月4日(水)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します(郵便事情を考慮して、早めに送付してください)。

(3) 出願書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録 内容の印刷物	① 出 願 確 認 票	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷（カラー推奨）にしてください。
	② 写 真 票		
	③ 書 類 確 認 票		必要な書類を確認し、揃っていればチェック欄にレ印を入れ、氏名を記入してください。
	④ 送 付 ラ ベ ル		出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷（カラー推奨）の上、必要書類郵送用封筒(市販の角形2号封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑥から⑩は本学ウェブページから所定の様式を印刷してください)	⑤ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、11頁の出願資格(1)の②に該当する場合は、成績証明書も必ず提出してください。
	⑥ 推 薦 書		本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑦ 志 望 理 由 書		本学所定の様式をA4用紙に印刷し、志願者本人が黒のボールペンで自筆により作成してください。字数について、スポーツ健康コース及び芸術表現コース【音楽分野】は400字程度、技術教育コースは600字程度とします。 なお、教員養成課程用と教育協働学科用、地域教員希望枠用の3種類の様式があるため、注意してください。※様式は本学ウェブページに掲載しています。
	⑧ 競技成績に関する証明書	スポーツ健康コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、次の①、②に示す資料（コピー可）を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料（表彰状、専門雑誌等） ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合の公式記録あるいは公的記録 （各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。）これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑨ 演奏能力に関する証明書	芸術表現コース 【音楽分野】 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの 「記載上の注意事項」をよく読み作成してください。 なお、13頁の出願資格(2)Bのうち、 全国レベルに相当する実技能力を有すると学校長が判断する場合は、所見欄に判断した事項をできる限り詳しく記載してください。 また、コンクール・演奏会等の実績については、次の①、②に示す資料（コピー可）を必ず添付してください。 ①コンクール名、年度、団体もしくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料（表彰状、専門雑誌等） ②団体においては、出願資格を満たしたコンクールにおいて個人の出場が客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑩ 英語能力測定試験に関する証明書	スポーツ健康コース 志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、19頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を提出してください。 提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、TOEIC® (L&R) のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。 （原本証明の記載例は19頁を参照）
	⑪ 伴奏用楽譜	芸術表現コース 【音楽分野】 志望者のみ	声楽に必要な伴奏用楽譜は、B4判とし志願者氏名を明記してください。（1ページの大きさはB5判）24頁を参照してください。

(参考) 専攻・コース別の必要書類一覧 (課さない推薦)

17頁の出願書類等について、専攻・コース毎に必要な書類が異なります。

下記の一覧表を確認し、出願時に不足等のないようにご注意ください。

書類名	技術教育	スポーツ健康	芸術表現 【音楽分野】
出願確認票	○	○	○
写真票	○	○	○
書類確認票	○	○	○
送付ラベル	○	○	○
調査書	○	○	○
推薦書	○	○	○
志望理由書 (教員養成課程用)	○※1		
志望理由書 (教育協働学科用)		○※1	○※1
志望理由書 (地域教員希望枠用)			
競技成績に関する証明書		○	
演奏能力に関する証明書			○
英語能力測定試験に関する証明書		●※2	
伴奏用楽譜			●※3

○が全員必要な書類、●が該当者のみ必要な書類になります。

※1 教員養成課程用 (学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程) と教育協働学科用、地域教員希望枠用の3種類の様式があるため、注意してください。

異なる様式で提出した場合、不備となり出願を受理することができません。

※2 スポーツ健康コース志望者で英語能力測定試験の成績利用 (加点) 申請を行う場合

※3 芸術表現コース【音楽分野】を声楽で受験する場合

(4) 英語能力測定試験の成績利用

教育協働学科教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみです。

合計点への 得点加算	実用英語技能 検定（英検） ＊	TOEFL iBT® 2026 年 1 月 20 日以前受検	TOEFL iBT® 2026 年 1 月 21 日以降受検	IELTS ＊＊	TOEIC® (L&R)	GTEC CBT タイプ /GTEC 検定版 ＊＊＊
50 点	準 1 級以上	80 以上	4.0 以上	5.5 以上	785 以上	1180 以上
30 点	2 級	65 以上	3.5 以上	4.5 以上	550 以上	1000 以上
20 点	準 2 級プラス 準 2 級	55 以上		3.5 以上	400 以上	720 以上
10 点	3 級	40 以上	3.0 以上	3.0 以上	365 以上	620 以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊＊「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

＊＊＊「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

英語能力測定試験の提出書類（教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点に得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、TOEIC® (L&R) のデジタル公式認定証を除き、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC® (L&R)	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証）又はデジタル公式認定証
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

※原本証明について

原本証明とは、原本の写し（コピー）が原本と相違ないことを学校長に証明していただくものです。成績証明書などをコピーで提出する際は、記載例を参考にしてください。

（記載例）原本の写し（コピー）の余白部分に記載

この写しは原本と相違ないことを証明します。 令和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇〇〇学校長 〇〇〇〇	公印
--	--

(5) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和8年10月16日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、次のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324 メールアドレス：nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 メールアドレス：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(6) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（高大接続枠を含む。）場合、課さない（地域教員希望枠を含む。）場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 出願書類の受領についての電話等による照会には、一切応じません。日本郵便ウェブサイト（<https://www.post.japanpost.jp/index.html>）の郵便追跡サービスでご確認ください。

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和8年11月21日(土)

ただし、教育協働学科教育コミュニティ支援専攻スポーツ健康コース及び芸術表現コース【音楽分野】は、志願者数によっては11月22日(日)にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検 査 時 間
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	小 論 文 10:00～11:30 面 接 13:00～
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	小 論 文 (11/21) 10:00～11:00 実 技 ・ 面 接 (11/21) 11:30～17:00 面 接 (11/22) 10:00～17:00 (*) * 志願者数によっては、実施しない場合があります。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	小 論 文 (11/21) 10:00～11:00 実 技 (11/21) 11:30～ 実 技 (11/22) 10:00～ (*) * 志願者数によっては、実施しない場合があります。

※志願者数によっては、検査科目の日時を変更することがあります。

その場合は、受験票の印刷が可能になったことを本学ウェブページ等でお知らせする際に、併せて印刷が可能となる「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選 抜 方 法
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）、小論文及び面接を総合して行う。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書）、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書、推薦書及び演奏能力に関する証明書、志望理由書）、小論文及び実技検査を総合して行う。（演奏能力に関する証明書には、演奏能力に関する所見又はコンクール等における受賞歴・演奏歴を記載。）

※総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和9年度大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜の配点等について

共通テストを課さない学校推薦型選抜で、本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等は次のとおりです。

なお、教科・科目に係る個別テスト等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

課程・学科・専攻・コース	検査科目	教科・科目に係る個別テスト等の配点等					
		小論文	実技	面接	証明書	合計	加 点
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	小論文 面接	250		250		500	
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※1	500	最大 50 ※2
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	小論文 実技	150	250		100 ※3	500	

※1 は競技成績に関する証明書

※2 は英語能力測定試験に関する証明書（最大50点）

※3 は演奏能力に関する証明書

(5) 小論文の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心をみるために、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解（関心を含む。）と洞察、論述における論理の構成力や表現力などを総合的に評価する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	スポーツ・健康に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成力や文章表現能力等も含め総合的に採点・評価する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	音楽と社会との関わりについての理解と認識をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された問題への関心度・理解度をみるとともに、論旨の明確さ、文章表現能力等も含め総合的に評価する。

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース

実 施 内 容 及 び 留 意 事 項

次の 1)～8)の競技種目の中から選択した1種目について、運動技能に関する実技検査を行う。
なお、実技検査で使用するウェア、シューズ、防具類等の個人用具は、すべて各自が持参すること。

- 1) 陸上競技
出願した当該種目について、試合に準じた形式で試技を行う。
- 2) バスケットボール
 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）
 2. 2対1又は3対2
 3. 速攻
 4. ゲーム
- 3) サッカー
フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。
＜フィールドプレーヤー＞
 1. ボールコントロール
 2. 各種シュート（ドリブルシュート、センタリングシュート）
 3. ゲーム
＜ゴールキーパー＞
 1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング、キックの各技能をフィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。）
- 4) バレーボール
 1. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）
 2. 対人レシーブ
 3. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択）
 4. ゲーム
- 5) 硬式テニス
 1. ストローク、ボレー、サービス、リターンの試技
 2. ゲーム（シングルス）
- 6) 体操競技
男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。
女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。
- 7) 柔 道
 1. 受身
 2. 立技
 3. 寝技
 4. 乱取
- 8) 剣 道
 1. 切り返し
 2. 応じ技
 3. 互角稽古・試合稽古

志望専門別に受験すること。

声 楽

実 施 内 容 及 び 留 意 事 項	
自由曲 2 曲	(注) 1 歌詞は原語とし、暗譜で歌うこと。 2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。 3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。 4 <u>伴奏用楽譜（歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの）を提出すること。ただし、1 ページの大きさはB 5 判（縦 257 mm×横 182 mm）とし、志願者氏名を明記の上、出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。</u> 5 伴奏者は本学で配置する。

器 楽

楽器別により、それぞれ指定（ア、イ）されたものを演奏する。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

自由曲については、作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。また、多楽章形式の曲を選ぶ場合は演奏する楽章まで必ず記載すること。

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
ピ ア ノ	ア、イの順に暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。<u>使用する楽譜の版は指定しない。</u> ア L.v.Beethoven：ピアノソナタより任意の 1 曲を選択し、第 1 楽章を演奏すること。ただし、Op.49-1、Op.49-2、Op.79を除く。 また、Op.27-1、Op.101、Op.109を選択した場合は、第 1、2 楽章を演奏すること。Op.27-2を選択した場合は第 3 楽章を演奏すること。 イ 自由曲 次の作曲者の作品より任意の 1 曲（ソナタの場合は 1 つの楽章） 1) R.Schumann 2) F.Liszt 3) F.Chopin 4) J.Brahms 5) F.Mendelssohn
フ ル ー ト オ ー ボ エ クラリネット ファゴット アルト・サクソフォン	次のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 長調の音階及び半音階（調及びアーティキュレーションは当日指定） イ 自由曲 1 曲

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
トランペット ホルン トロンボーン バス・トロンボーン ユーフォニアム テューバ	次のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 次の譜例により、長調の音階 2 オクターブ及び分散和音（調は当日指定）  イ 自由曲 1 曲
打 楽 器	次のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 小太鼓の基本奏法 1 つ打ち、2 つ打ち、5 つ打ち （緩→急→緩 等、当日指定）、ロール（＜、＞、＜ ＞ 等、当日指定） イ 小太鼓、マリンバのいずれかをういた自由曲 1 曲 （注）マリンバ（5 オクターブ半）、小太鼓、スタンド、バチ置きは貸出し可能

（６）－２ 実技検査の採点・評価基準

学科・専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	選択した 1 種目についての、 運動技能に関する検査	種目固有の運動技能を体力・技術・戦術等の視点から総合的に採点・評価する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース【音楽分野】	声楽、器楽から一つを選択	演奏技術及び音楽性について審査し、総合的に評価する。

（７）面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	将来、小学校、中学校の技術教育に関わる教員となるのにふさわしい資質と、技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる内容を問う。くわえて、数学・理科（数学Ⅰ・数学Ⅱ・物理基礎の範囲）に関する口述試験を行う。	小学校、中学校の技術教育に関わる教員への意欲、技術や技術教育に関する知識・理解・関心・意欲・適性及び面接時における話の要点や論理性などを総合的に評価する。
教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	スポーツ・健康に関する理解と関心度と、それに対する表現力をみる内容を問う。	スポーツ・健康への興味・関心・知識・意欲・表現等を総合的に採点・評価する。